

バーコードラベル印刷ソフトウェア



製品概要

誰でも簡単にバーコードラベルがデザインでき、高精度なバーコードが印刷できます。
OLE によるアプリケーション連携も可能ですので、生産管理システムや物流管理システムから印刷できます。

機能

主な特長

- 32bit 版と 64bit 版を同梱。インストール時にどちらかを選択可能。
- プリントドット自動調整により高精度なバーコードを印刷。
- GTIN チェックデジット、料金代理収納全体チェックデジットを自動計算。
- デザイン画面のズーム、オブジェクトの整列とグループ化機能。
- 数値、通貨、日時、ラベル分割数、カウンタ、演算等の表示形式設定。
- テキストリンクによる表示、住所やコメント等の長いテキストの自動折返。
- 複数データリンクによるバーコード作成、特定文字を除外したバーコード作成。
- ISO15434 データ構造に対応した各種セパレータの挿入。
- 連続文字列、データのインポート / エクスポート、ODBC データベース連携。
- 他のアプリケーションソフトと OLE オートメーションサーバで連携。
- 市販のラベル紙のテンプレートと業界標準ラベルのサンプルを添付。

テキスト、バーコード、図形を簡単にデザイン

テキスト、バーコード、線、図形をデザイン画面の中で自由に作成、配置、編集できます。テキストは、様々なフォントや文字サイズをサポートしており、文字の回転や縦書き、文字間隔設定も可能です。また、色や罫線枠を付けたり、住所やコメント等のテキストエリア内の自動折り返し、テキストのリンクも可能です。さらに、数値、通貨、日時、演算等の表示設定もできます。
ラベルデザインは、直線、斜線、四角形、円、楕円も簡単に作成でき、ロゴや写真もラベルに配置できます。マウスによるラベルサイズ変更、デザイン画面のズーム、オブジェクトの整列 / グループ化 / 階層化等が可能です。

様々なラベルに対応

Windows のプリンタドライバを持ったプリンタであれば、レーザ、熱転写、インクジェット、シリアルドット等、何れのプリンタでも印刷できます。ラベルの割り付けも簡単、ページレイアウト画面で余白やラベル間隔を設定できると共に、市販のラベル紙のテンプレートを使用することができます。また、印刷項目や印刷枚数を設定でき、プレビュー画面で印刷の確認もできます。

レーザプリンタまたはサーマルプリンタで印刷できる医療用リストバンド (LaserBand / Z-Band Fusion) のテンプレートを用意しました。

印刷現場に最適な LabelStar Worker 機能

印刷現場では、操作ミスによりデザインが変更されてしまうことがあります。これを防止するために、デザインが変更できない印刷版の LabelStar Worker 機能をサポートしました。LabelStar Worker 機能は、インストール時に選択できます。

他のアプリケーションと連携

OLE オートメーションサーバの機能により、他のアプリケーションからプロパティやメソッドを利用して、LabelStar Pro の印刷機能を使用することができます。したがって、物流システムや生産システム等のプログラムに LabelStar Pro を組み込み、アプリケーションから簡単にラベル発行ができます。

主なアプリケーション

- 商品ラベル
- 値札
- 物流ラベル
- 棚ラベル
- 荷送り状
- 製造ラベル
- カンバン
- 銘板ラベル
- 備品ラベル
- 宛名ラベル
- POP 広告
- ID カード
- リストバンド
- メニューシート
- 振込用紙等

高精度のバーコードを作成

バーコード作成エンジンに BarStar Pro を使用していますので、プリントドットに合わせた高精度なバーコードを作成します。バー幅、バー高さ、バー幅比、チェックデジット、目視文字 / チェックデジットの表示、バーコード色、背景色、回転、バー幅補正等の設定が可能です。さらに、複数のテキストデータをリンクさせてバーコードを作成する機能、ASCII コードのフィールドセパレータを挿入する機能、括弧などの特定文字を除外してバーコードを作成する機能をサポートしていますので、GS1-128 や GS1 Databar Expanded のラベル作成に便利です。

データチェックデジットの自動計算

従来のシンボルチェックデジット計算の他に、商品識別コード GTIN や料金代理収納バーコードのデータチェックデジットを自動計算する機能を持っています。これにより JAN コードから GS1-128 の GTIN を自動計算することや、料金代理収納バーコードの全体チェックデジットを自動追加することができます。

簡単な印刷データの作成と編集

ラベル印刷に使用するデータは、表形式のデータ画面にキーボード入力するか、テキスト形式でデータをインポートします。また、テキストばかりでなく、画像も連携することができます。入力した印刷データは、検索、選択、並べ替え等の編集が簡単にできます。シリアル番号のような連続番号文字列では、開始番号、終了番号、増量等を入力することにより自動作成できます。また、デザイン画面の設定で、日時、連続番号、ラベル分割数等の自動印刷も可能です。

販売価格

個別見積

商品番号 1000571 LabelStarPROv4.0